



国際防災学会 インタープリイベント2018の開催

本年10月1日から4日の4日間、富山国際会議場において、「国際防災学会インタープリイベント2018」が開催されました。

富山県では、「立山砂防」の世界文化遺産登録に向けて、その歴史的防災遺産の国際的評価の検証・確立に取り組んでおり、今回のインタープリイベントに参加された国内外の多くの専門家に立山砂防の世界的価値をアピールし、理解を深めました。

その価値は専門家によって国際的にも認められ、最終日には、立山砂防が人類共通の遺産として共有していくべき顕著な普遍的価値を有しているという「富山宣言」が採択されました。

視点

1 橋梁の点検について

■北陸地方整備局 北陸技術事務所長
〔「北陸の建設技術」編集委員長〕鈴木 和弘



護岸整備完成
(河北郡内灘町室 地内) ▶P.3

地域の動き

ふるさと紀行「のと里山海道」を保全する海岸整備として

3 高松・七塚海岸、宇ノ気内灘海岸 海岸災害復旧事業

■石川県 県央土木総合事務所



ICT建機による掘削・法面整形作業
▶P.5

シリーズ 現場技術者の「知得」

17 ICT普及拡大に向けた取組

■北陸地方整備局 企画部 施工企画課



河川浚渫(左)と舗装工(右)の見学会開催の様子
▶P.17

先輩なう!

19 地域のためになる仕事

■エヌシーイー(株) 総合計画部 木村 光伸さん



木村 光伸さん▶P.19

技術レポート

地域の安全を確保し、広域的物流を活性化するバイパス事業
一般国道290号大島バイパスの全線開通について

5

■新潟県村上地域振興局地域整備部道路課
(株)渡辺組(新潟県岩船郡関川村)

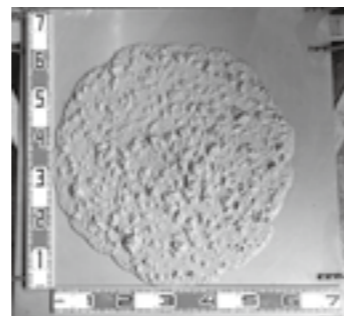


自己完結型トイレ▶P.9

阿賀野バイパス17工区改良その15工事
建設工事における3R活動実施への取り組み

9

■秋葉建設興業(株)



ニューロクリートNeoの外観▶P.11

コンクリート工事の生産性を向上

11 低セメント量の新しい高流動コンクリート

■(株)大林組

水の静的・動的特性からのアプローチ

15 海岸道路陥没のメカニズム

■(株)開発技術コンサルタント



道路陥没(平成27年1月) (同補修状況)
▶P.15



「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。

E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp